

松本糸魚川連絡道路 大町市街地区間 地区説明会 質疑応答要旨  
令和7年12月12日(金) 18時30分～20時30分  
場所:平公民館、対象自治会:木崎、外堀、山崎、仁科郷、白樺、塩ノ原、森地区

○質問1

説明にあつたランプとは何か。

●回答1(大町建設事務所)

本線と交差する道路とをアクセスする部分で、上り下りに分かれて設置される道路。高速道路等のICで料金所へ向かって分岐する箇所のイメージ。

○質問2

以前の説明会と変わらない説明であり、前回からの進展が感じられない。事業費はどのくらいになるのか。

●回答2(大町建設事務所)

今回は具体的にどこに道路は通るのかということを皆さんへ示すための説明会。道路構造については確定していないため、事業費については算定していない。

○質問3

以前の説明会では事業費は240億とか260億と言っていたように思う。物価や人件費の高騰で300億くらいになるのではないか。わずか6分の短縮のために、これだけの税金を使われるのには納得がいかない。松糸道路を整備した場合に生じるデメリットを聞かせて欲しい。

●回答3(大町建設事務所)

現在周りに道路のない静かな住環境でお住まいの方で、家の脇に道路ができる方もいるので、こういった住環境の悪化が1番のデメリットと考えている。

○質問4

木崎湖以北は現道利用とのことであるが、稻尾の信号交差点あたりで渋滞が発生すると、平地区まで渋滞が延びて生活に支障が出るが、そういった住民への影響まで考えているか。

●回答4(大町建設事務所)

これまで木崎湖以北の方を先に進めた方が良いのではないかという意見はあったが、市街地の走行の定時性確保が1番の課題があるので、市街地を優先して進めているところ。木崎湖以北についても環境への影響調査などを行っており、全く手つかずの状況ではない。

## ○質問5

木崎湖以北も改良してくれるということでよいか。

### ●回答5(大町建設事務所)

市街地区間の工事が全て終わってから木崎湖以北に着手するわけではなく、市街地区間がある程度軌道に乗ったら、現道活用区間についても、狭い区間の拡幅、線形不良区間の線形改良などを検討していく予定。

## ○質問6

この事業は、高瀬ダムの堆積土砂の処理と何か関連性があるのか。ダムに堆積した土を盛土に活用する可能性はあるのか。

### ●回答6-1(大町建設事務所)

ダムの堆積土砂の置き場のために道路を整備するといった考えは無く、現時点では全く白紙である。事業化した後に、ダムに堆積した土が盛土材として利用可能で、運搬費等の面で経済的であれば利用する可能性はある。

### ●回答6-2(大町市)

高瀬ダムの堆積土砂の搬出については、国土交通省の方でどういった活用ができるのか検討中と聞いている。現時点では松糸道路の盛土材として使用するといった話はないと認識している。

## ○質問7

この地域の環境や景観が良くて、この大町市に移住してくる人達がいる。なので、やはり現在あるオリンピック道路を改良してもらえば良いと思っている。

### ●回答7(大町市)

この道路は、大町市だけでなく広域的に必要な道路として進められている事業であり、景観ももちろん大事だが、地域全体として北陸と結ばれることによって公共の福祉に資する役割がある道路と考えている。市の方でも、環境や景観に関する条例や計画など、取り組みを進めており、一方的にこの道ありきで造っていくつもりはなく、町として景観に配慮した構造に近づけていただくよう県にはずっとお願いをしている状況である。

## ○質問8(要望)

この道路ができると、この地域の自動車の流れが大きく変わるとと思う。オリンピック道路を整備した時に、県道白馬岳大町線の交差点が整備され、角度が悪いまま現在に至っている。ICができるとこの道路の交通量が増え、生活の中で危険が増すといった事が生じるため、こういったことも考慮して計画を進めてもらいたい。

## ○質問9

県道扇沢大町線 IC と県道白馬岳大町線 IC を設置する計画となっているが、距離が近いので、IC を2箇所も整備する意味があるのか。考え方を知りたい。

例えば、県道白馬岳線との IC がなくても、側道を利用すれば松糸道路にアクセスできるのではないか。

### ●回答9(大町建設事務所)

県道扇沢大町線 IC は、交通量が多いことだけではなく、他県から観光で訪れる車両が黒部ダムヘスムーズに向かえるように計画している。県道白馬岳大町線の IC は、大町市街地から国道 148 号を経由して木崎湖、白馬方面に向かう車両が最後にアクセスできる IC として位置付けている。側道を使うことも考えられるが、側道利用だと、木崎地区の方が北に向かう際に一旦逆方向に戻る動線になるため、県道白馬岳大町線から松糸道路にアクセスできる方が望ましいと考えている。

## ○質問 10

松糸道路から東側の県道白馬岳大町線が、意図的にカーブで付け替えられているが、直線に近い現道のままではいけない理由があるのか。

### ●回答 10(大町建設事務所)

現在の道路線形では交差点の交差角が悪く、ランプにスムーズに乗れないため、線形を修正している。

## ○質問 11

この近くに木崎のお宮があり、秋祭りでは、このお宮から山車の出入りがあるが、その動線をどのように考えているか。

### ●回答 11-1(大町建設事務所)

現段階では山車の導線までは考慮していない。事業実施段階において、地元の皆さんのお見を再度、伺っていきたい。

### ●回答 11-2(大町市)

松糸道路を横断する箇所や側道については、現段階での計画案であり、まだ決定ではない。このルート線についてご理解をいただいた後で詳細な設計に入り、必要に応じて見直しを行っていくということをご理解いただきたい。

## ○質問 12

事業が始まるのは、実際何年後になりそうか。

### ●回答 12(大町建設事務所)

昨年現地測量を行って、今回初めてルート線を提示させてもらった。これまでの説明会でも、地域の皆さんから様々な意見をいただいている。出された意見等を踏まえ、変更できるところは変更して、改めて説明をして、どれくらいの期間で住民の理解が得られるか、現時点ではわからない。今後の都

市計画の手続きも時間がかかる可能性もある。この先どの程度の時間がかかるのか見通しがたたない中、いつから始まるのかといった事に対して、現時点では明確な回答はできないことを了承いただきたい。

#### ○質問 13

この計画は 50 年前の計画と聞いているが、なぜ今またこの計画の話が始まったのか。市民の方から欲しいといった意見でもあったのか。松糸道路の整備が、大町市民や大町市にどのようなメリットがあるのか教えて欲しい。まちづくりに必要な道路というが、どんなまちづくりを目指しているのか明確に示して欲しい。とにかくこの道路をつくっていきたいという感じがみえる。5,000 人の反対署名があつたと聞いているが、これについてどのように考えているのか。

#### ●回答 13(大町建設事務所)

今回の説明会の主旨から外れるため、この後の個別相談の時間で、職員から説明させていただく。

#### ○質問 14

トラックが 1 日に 15,000 台も通ることになると、騒音・振動だけでなく、凄い排気ガスの公害が生まれると思う。リニアの建設現場で地元の方が困っているのを実際にみてきた。工事中の何年間もの間、1 日 15,000 台ものトラックが来るなんて考えられないが、かなりの公害が生じると思う。これに対する何か補償があれば教えて欲しい。

#### ●回答 14(大町建設事務所)

昨年までのルート帯の説明資料の中で、環境への影響についても説明させてもらっている。松糸道路は一定の速度で走行できるため、大町市内全体としては二酸化炭素、窒素酸化物は減少すると説明している。

#### ○質問 15

ずっと説明会等を聞いてきたが、生活への影響を考えると、どうしても納得できない計画で自分は反対している。騒音・振動の影響は、予測している以上に大きいものになると思う。景観への圧迫感もある。木崎湖以北は、道路が 1 路線しかなく、事故等があると長い通行止めや狭い道に大型車が入ってくるなど影響が大きい。こういった状況を県の方はどの程度把握されているのか、こういった木崎湖以北の課題をどう考えているのかを知りたい。また、松糸道路は計画段階ということであるが、木崎湖以北でこういった問題が大きくなつた時に、今ここで決めてしまったこの市街地区間のルートを見直すことができるのか聞きたい。

一番聞きたいのは、先ほどから、これまで住民の声や意見を聞いている、これからも聞いていくとのことであるが、今回提示された計画の中で、住民・市民の声や意見を聞いて配慮した点はどこなのかな。具体的に聞かせて欲しい。

#### ●回答 15(大町建設事務所)

今回示したルート線は、昨年度測量をした結果に基づいて計画を進めてきている。その中で、1番

は安全で快適に走行できる道路ということを目的にしてきた。ルート線の検討では、基準に沿って検討を進めており、住民の声を反映した点はない。ルート線については、今回の説明会を通じて出されたご要望に対して、色々設計を見直していく予定。

これまで 65 回の説明会を行い、幅広い方々からの色々な意見を踏まえて令和 6 年 1 月にルート帯を発表し、昨年度測量をさせていただき、その中でルート線を計画してきたことが、皆様の意見を踏まえて検討しているものと考えている。これまで、細部の構造等に対する意見は少なかったが、今後新たな意見等が出てくれば、可能な範囲で反映させていこうと考えている。

質問いただいた木崎湖以北の事について、全く何もしないという事ではなく、まずは、1 番課題のある大町市街地区間を優先して進めている状況。この事業がある程度軌道にのった段階で、木崎湖以北についても検討を開始していくと考えている。

#### ○質問 16(要望)

大町市街地には道は沢山あるし、木崎湖以北の方が課題は大きいと思っている。県の考えとは逆かなと思う。県の回答を聞く限りどうしても納得できないので、「公害調停」という国の制度を利用して、計画の見直しを申請していきたいと思っている。しっかり住民と対話しながら進めていくようにしてもらいたい。